

事業計画書

事業名	新技術習得のためのオーダーメイド研修
事業実施に至る経緯（課題）	<p>既存取引先のF社から、2年計画で◆◆技術の習得を求められている。◆◆技術については、2工程からなるもので、そのうち1工程は既存の工法で対応できる。しかし、もう一つの工程は弊社としても未経験の××技術を活用したものであり、技術習得が必要となる。</p> <p>今後のF社の計画では、◆◆技術を使った部品の発注量が増加する見込みであり、従業員を××技術習得のため機械メーカーに委託して研修を実施する。</p>
事業概要	<p>（事業計画の内容）</p> <p>1)基礎技術習得 ・技術習得するのは、経験5年の若手技能者2名。それぞれに基礎的な内容の書かれた技術書籍を与えて、予習を促す。購入する書籍は、「××技術の基礎知識」</p> <p>2)機械メーカーでの研修 ・××技術については、工作機械メーカーのG社に技術蓄積があり、G社に依頼して弊社若手技能者にあつたレベルでのオーダーメイド型の研修を実施する。技術習得にあたっては、G社の▼▼工場（◇◇県）にある機械が必要となるため、弊社から出張して▼▼工場内のセミナールームにて受講する。</p> <hr/> <p>（事業実施に関わる経費）</p> <p>1)基礎技術習得 ××技術の技術書籍購入(10,000円×2名分) (対象外経費：基礎習得にかかる社内人件費(3,000円/時×40時間))</p> <p>2)機械メーカーでの研修 研修委託料：機械使用料を含む半日5回分(500,000円) 研修会場までの交通費(往復10,250円×2名×5回)</p>
事業スケジュール	<p>1)基礎技術習得 7～8月</p> <p>2)機械メーカーでの研修 9～12月</p>
事業実施により期待される効果（成果目標）	<p>××技術は、近隣の同業他社では取り組んでいない技術であり、この技術を習得することで弊社の競争力は向上するものと考えている。</p> <p>また、今まで弊社ではベテラン技能者を中心にノウハウを蓄積してきたが、若手への技術承継が進まないという課題があつた。今回、研修の形で若手技能者に直接ノウハウが蓄積できることで、中長期的な視点での効果が大きいと考えている。</p>

内容は箇条書きにして、費用とスケジュールの対応がつくように番号を振る

書ききれない場合は別紙にご記入ください。

取得する認証自体の解説と効果を書く